

施政方針

能登町第二次総合計画2年目となる平成29年度はどのような施策が行われるのか——3月定例会議で
持木町長が述べた、施政方針の一部を掲載します。

私が町民の皆様から町政を託されて12年が経とうとしています。この12年間、それぞれの地域がこれまで培ってきたまちづくりを尊重しながら、能登町に暮らす全ての町民が、すこやかに、安心して日々の暮らしを送り、幸せと生きがいを感じることできる持続可能な地域社会をつくりあげることを使命として、町政の推進に全力を傾けてきました。この間、多くの皆様から温かいご指導、ご助言をいただいたことに深く感謝申し上げます。

合併当初は「財政再建団体」への転落が危ぶまれるほどの危機的な財政状況でありました。こうした中、平成18年度から3年間で「財政集中改革期間」として、町民・議会・行政が一体となっ

て財政の健全化に取り組んだ結果、町財政の危機的状況を回避することができました。

平成19年3月25日には、「能登半島地震」が発生し、当町においても震度6弱を記録して多大な被害が発生いたしました。その後も「東日本大震災」や「熊本地震」など、全国各地で甚大な被害を及ぼす自然災害が多発しております。「能登半島地震」から10年という節目を迎えますが、その記憶を風化させることなく、引き続きハード・ソフト両面において、災害に強い町づくりを目指す所存です。

合併後10年間のまちづくりの指針となる第1次総合計画では「一歩前へ進むまちづくり」を基本目標に掲げ、「奥

整備に向けた基本計画を策定いたしました。

「世界農業遺産推進事業」では、世界農業遺産活用実行委員会や能登GIAHS推進協議会への負担金を計上し、「環境にやさしい町づくり推進事業」では、引き続き木質バイオマスストーブや住宅用太陽光発電システムの普及を促進します。

②誰もが住みよいと感じる地域が一体となったまちづくり

地域の特色を生かしたまちづくりを

推進するための施策として、「のとキリシマツツジ振興費」では、町花である「のとキリシマツツジ」の普及・振興を図るため、柳田植物公園で整備を進めています「のとキリシマツツジ園」について計画を前倒しして、平成29年度の完成を目指します。のとキリシマツツジは、能登半島の古木群が昨年12月に「いしかわ歴史遺産」の認定を受けており、さらなる交流人口の拡大につながるものと期待しています。

「海岸保全施設計画」は今後、町内の漁港海岸の保全計画を策定するもので、今年度は松波海岸保全施設の長寿



能登にひと・くらしが輝くふれあいの町」を目指して、町民との協働による新町の均衡ある発展と一体感の醸成に努め、「町民の目線」「町民の視点」のまちづくりを推進してきました。

平成27年度には、次の10年間の指針となる「第2次総合計画」と人口減少対策や地方創生を目指す「能登町創生総合戦略」を策定しました。第2次総合計画と創生総合戦略では、「つなぐ」をキーワードに「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐまちづくり」を基本目標とし、「人」と「地域」の絆を大切にしながら「地域力」を向上し、「住民が自信と誇りを持てる力強い町づくり」を目指すことにしており、世界農業遺産や日本遺産に認められた、私たちの先人が守り続けてきた文化や、町がこれまで進めてきた施策をしっかりと未来へつなげていくことが大切であると考えています。

本町の財政状況は、これまでの集中改革プランや定員適正化計画の実施による経常経費の削減に加え、計画的な長期債繰上償還の実施により、公債費や町債残高の縮減を図り、財政指標については、一定の改善の効果を上げています。

しかしながら、歳出面では、今後は人口減少問題対策費や高齢者増による

施政方針





命化計画を策定します。

「道路整備費」では、社会資本整備総合交付金事業、地方創生道整備推進交付金事業を継続して計上しています。また橋梁・トンネルについても、計画的に点検を実施し、メンテナンスを進めます。

「街路整備」では、引き続き「駅 hands 手線街路整備事業」を計上し、市街地の回遊性向上を図ります。

「小木地区都市再生整備計画事業」では、道路改良のほか、観光交流施設整備費を計上し、小木地区の都市環境整備を図ります。

「のと里山空港利用促進事業」では、誘客促進事業において、首都圏向け団

体ツアーの利用が見込まれることから増額計上するほか、新たに羽田空港での乗継を利用された町民への助成を計上しています。

「防災総務費」では、地域の防災力を高めるために、引き続き防災士や自主防災組織の育成に努めるほか、津波ハザードマップの更新や職員緊急連絡システムを導入するなど、防災体制の強化を図ります。

「衛生センター施設改良事業」では、し尿汚泥を下水道施設に希釈投入し、人口減少を見据えたとし尿処理体制の構築を図ります。施設改良工事は29年度完成を見込んでおります。

強化いたします。

④健康で心に豊かさを 持てる人づくり

健やかに暮らせる活力ある地域社会づくりにつなげるための施策として、「福祉人材再就職支援事業」では、介護職の再就職に対して支援し、不足している介護人材の確保を図ります。

「子ども医療費給付事業」では、昨年10月診療分から自己負担分を現物給付とすることで受診しやすい環境を整え、子どもたちの疾病の早期発見と治療を促進して、引き続き予算計上しております。

「公立認定こども園運営費」では、28年度から第2子の保育料半額と、3保育所で、土曜午後の保育を実施するなど、子育て環境の充実を図っています。新年度では、子どもたちの安全確保のため、老朽化している遊具の更新費用等を予算計上しています。

「次世代育成支援対策事業」では、「産前産後子育てヘルパー制度」を引き続き実施し、「つわり」や「産後うつ」などで支援が必要な妊産婦の負担を軽減します。28年度に役場3庁舎に設置しました「赤ちゃんステーション」を、新年度は「コンセールのと」など2箇

③地域の魅力を生かした しごとづくり

一次産業や商工業、観光を推進し、地域の活性化としごとづくりにつなげる施策として、「RESASSワークショップ」では、能登町創生総合戦略を推進するために、28年度に能登高校生、インターン大学生、社会人グループが提案した政策の実現に向けて取り組みもので、具体的には「能登高カフェ」「メディアキャンプ」「インターシップ受入体制の構築」によって、人材育成や企業の掘り起こしを目指します。

「創業・継承支援事業」は、起業や事業継承等の初期投資について支援するもので、昨年度から増額して計上しています。

「鳥獣被害防止対策事業」では、鳥獣被害対策実施隊を結成して体制を強化するほか、新たに檻購入補助を実施し、イノシシ等による農作物被害対策を強化します。また、クマやイノシシなどの出没を抑制するため「いしかわ森林環境基金事業」の新メニューとなる緩衝帯整備を五十里地区で行うほか、「集落支援員」を導入して、鳥獣被害対策における集落対策や調整等を、町と連携しながら実施します。

「ブルーベリー振興対策事業」では、苗木を購入する農家の収穫までの期間を短縮するため、普及センターでポットによる苗木育成を実施します。

「高品質化機械導入事業」では、引き続き、共同利用や農産物の高品質化に資する施設や機械の整備を支援し、農業振興を図ります。

「畜産事業」では、新たに乳用牛への受精卵移植に補助し、能登牛の生産体制を強化するほか、引き続き「能登牛認定店促進事業」を実施し、町内の能登牛取扱店を増やして、能登牛の消費拡大と「能登牛の郷」のPRを行います。

「農村総合整備事業」では、4地区で暗渠排水や用排水路の整備などを実施し、営農体制の強化を図ります。

「県営ほ場整備事業」は、継続4地区について、増額計上しています。

「観光振興対策事業」では、町ふるさと大使の柴野大造氏をパーソナリティとした、町紹介ラジオ番組を制作します。ふるさと納税を財源として、町のキャラクター「のっとりん」をイメージしたワゴンタイプの公用車「のっとりん号」を購入し、各種イベントや出向宣伝等に活用します。そのほか、京浜急行電鉄への広告費を新たに追加し、首都圏における町のPRを

所に設置し、乳幼児を連れて外出しやすい環境をつくりまします。

「病院事業」では、地域包括ケア病床を増床します。また、「薬剤師修学資金制度」を創設し、人材確保対策を強化します。

⑤地域を通して共に学び まちの未来を担う人づくり

まちの未来を担う人づくりを進めるための施策として、「鶴川小学校土砂災害対策事業」では、避難所となっている鶴川小学校校後背地の崩壊対策工事を実施し、土砂災害特別警戒区域の解消を図ることで、児童が安心して学べる環境をつくるとともに、避難する地区住民の安全を確保します。

「能登高等学校魅力化事業」では、これまでの支援に加えて、28年度から実施しています「まちなか鳳雛塾」の運営費と講師となる地域おこし協力隊に係る経費を計上しました。新年度は、講師の増員や地域学として「能登学」を取り入れるなど、内容の充実に努め、能登高校生の学力向上と、能登高校への入学者増につなげていきたいと考えております。

中学生の部活動支援として、大会派遣の際の生徒の移動時における安全確

保の観点から、公式大会参加に係る交通費のバス借上等について全額助成することとし、さらに練習試合等についても一部補助を行います。

「小間生公民館建設事業」では、現在、旧小間生小学校校舎を利用しての公民館を、新たに久田和紙の体験施設や地区集会施設との複合施設として建設し、社会教育の充実と地域コミュニティの活性化を図ります。

「アスリート強化支援事業」は、当町出身のオリンピック誕生を目指し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの活躍が期待されるアスリートを支援します。

「テニスのまちづくり」としては、「全日本学生ソフトテニス選手権大会」の女子の部が、能登町で12年ぶりの開催となり、全国各地から選手・監督ら約800人が能都健民テニスコートと内浦総合運動公園テニスコートに集結します。本大会の開催に合わせて、施設の改修費等を計上しています。昨年オープンしました「藤波テニスミュージアム」に、錦織圭選手と松岡修造氏からウェアやラケット等の寄贈品を受け、その展示に要する経費を計上しています。今後も全国規模の大会誘致とテニス



ミュージアムの充実により、「テニスのまち・能登町」を全国に発信していきたいと考えています。

⑥地域の絆を深め 住み続けたいくなる まちづくり

安心して住み続けられるまちづくりを推進するための施策として、「定住促進事業」では、移住希望者に対する窓口の一本化を図るために27年度に設立した「定住促進協議会」への補助金を計上しております。協議会では、移住先としての能登町のPRのほか、暮らし体験可能な空家の改修、仕事のマッチングなどを行い、町が実施する移住者向けの各種助成金と合わせて、さらなる移住者増を図ります。

「借上町営住宅事業」では、移住者向け住宅不足を解消するため、民間事業者が建設した賃貸住宅を町営住宅として借り上げ、転貸します。

「集会所整備事業」では、立壁地区で新たに集会所を整備します。

⑦わかりやすい行財政と 情報の共有によって つながるまちづくり

住民と行政の協働による、つながるまちづくりを推進する施策として、「ふ

るさと能登町応援寄附事業」では、29年度の寄附額を2億円と見込み、所要の事務費を計上しました。ふるさと納税については、昨年12月からポイントプランを導入しており、寄附者がより柔軟に返礼品を選択できる環境になっています。

以上、ご説明いたしました平成29年度当初予算は、一般会計が、前年度比2割減の147億6300万円。特別会計が、前年度比13割減の74億7346万2千円。事業会計が、前年度比14・2割増の43億416万円。合計が3・2割減の265億462万2千円となっております。

時代は予想以上に早く、大きく変化しております。時代の変化をチャンスと捉え、町民、行政、企業等が自らの強みを生かしながら、これまでの取り組みを進化させ、一歩一歩着実なまちづくりを進めていく必要があります。町民の皆様とともに、住んで良かったと思える町づくりを進め、町発展のため、取り組みに邁進していく所存ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

安全安心な町づくりに一歩前進 消防宇出津分署 建設工事着工



消防宇出津分署の完成予想図

能登消防署宇出津分署の起工式は3月17日に建設予定地である宇出津・梅の林地内で行われました。町関係者や各消防団長、地元町内会長など約80人が参列し、工事の安全を願いました。

持木町長は式辞で「安全安心な町づくりの拠点となることを期待します」と述べ、防災拠点整備へ意欲を示しました。建設される庁舎は鉄骨2階建て延べ1499平方メートルで、敷地面積は9710平方メートルです。訓練や緊急時の対応に十分な敷地を確保しているほか、地域の利用も想定した会議室や研修室を備えています。有事の拠点としてだけでなく、地域の人に親しまれる建築物としても活用されます。



工事の安全願い鎌
を入れる持木町長

議 会

平成 29 年第 1 回 3 月定例会議



能登町議会平成29年第1回3月定例会議は、3月6日に開会しました。日程を15日までの10日間と定め、平成29年度一般会計予算や条例改正など議案47件が上程されました。持木町長が議案の提案理由を述べ、8人が議案について質問しました。

平成28年度消防宇出津分署建設工事の請負工事契約締結に関する議案3件が追加で上程され、いずれも原案のとおり可決されました。議案は各常任委員会に付託されました。

最終日の採決では、議案47件が原案のとおり可決されました。

■可決された議案…47件

平成29年度当初予算…10件
一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、浄化槽整備推進事業特別会計、水道事業会計、病院事業会計
平成28年度補正予算…13件

一般会計補正予算（第6号）、有線放送特別会計補正予算（第2号）、国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第3号）、観光施設特別会計補正予算（第2号）、公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）、農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）、漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）、浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第2号）、簡易水道特別会計補正予算（第3号）、水道事業会計補正予算（第

2号）、病院事業会計補正予算（第2号）、能登町組織条例の一部を改正する条例について
・能登町個人情報保護条例の一部を改正する条例について
・能登町空家等対策の推進に関する条例の制定について
・能登町地区集会所等条例の一部を改正する条例について
・能登町附属機関に関する条例の一部を改正する条例について
・能登町特別会計条例の一部を改正する条例について
・能登町都市計画税条例の一部を改正する条例について
・能登町認定こども園設置管理条例の制定について
・能登町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
・能登町介護保険条例の一部を改正する条例について
・能登町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について
・能登町宇出津港水産物鮮度保持施設条例の一部を改正する条例について
・能登町簡易水道事業の設置に関する条例及び能登町簡易水道工事分担金徴収条例を廃止する条例について

・能登町水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について
・能登町水道法施行条例の一部を改正する条例について
・能登町水道事業給水条例の一部を改正する条例について
・能登町集落排水施設条例の一部を改正する条例について
・奥能登クリーン組合規約の一部変更の協議について
・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
・公の施設の指定管理者の指定について
・町道路線の認定について
・請負契約の締結について（平成28年度消防宇出津分署建設工事（建築））
・請負契約の締結について（平成28年度消防宇出津分署建設工事（電気設備））
・請負契約の締結について（平成28年度消防宇出津分署建設工事（機械設備））
■可決された意見書
・有害鳥獣向け食肉処理施設の整備等を求める意見書
北朝鮮による弾道ミサイル問題の早期解決を求める意見書